

状況に応じた避難とは

想定される浸水深によって、避難について注意すべきことが異なります。マップをよく見て、避難場所や避難方法を考えましょう。

大きな地震が発生したとき

- 屋外にいたら** → すぐに近くの高いところへ移動する。
(地震後すぐ決壊するとは限らないので、安全が確認されるまでは十分注意しましょう。)
- 屋内にいたら** → 自宅の上層階にとどまりましょう。
(むやみな移動はかえって危険です。)
- 避難場所へは** → 自宅が壊れるなど、避難場所に移動しなければならない場合は、周囲の水位変化や音などに注意しながら避難しましょう。

基本的な考え方

避難のために外出する方が、むしろ危険になっている場合もあります。同報無線、インターネット等の避難情報に注意して、避難場所へ避難するか、屋内の比較的安全な場所（2階等）にとどまるなど、各自命を守るための判断・行動をとってください。

想定浸水深

避難の流れ



非常用持ち出し品の準備

災害時にすばやく避難できるようにリュックサック等に非常用持ち出し品を入れて準備しておきましょう。

非常用持ち出し品のポイント！

- ◇ 家族構成等を考慮し、必要な分だけ用意しましょう。
- ◇ 懐中電灯やラジオに必要な電池は多めに用意しておきましょう。
- ◇ すぐに持ち出し可能な場所に置き、家族全員がその場所を把握しておきましょう。



☆避難時の注意点→

避難時には通い慣れた道でも普段と全く違った状態になっているおそれがあるため、慎重な行動と助け合いの精神を心がけてください。



富士市産業交流部農政課

平成27年3月作成

〒417-8601 静岡県富士市永田町1丁目100番地 電話0545-55-2782

【保存版】

RESERVOIR HAZARD MAP OF FUJI CITY

富士市ため池ハザードマップ

原方池
HARAKATA POND

ため池ハザードマップとは

豪雨、地震(震度6程度以上)を想定して、ため池が決壊した場合の被害を予測し、被害範囲を地図に示したものです。

原方池は昭和20年代に地域住民の協力のもと造成され昭和61年に改修を行った農業用水、地元の維持、防火用水に使用されているため池です。

近年の大規模地震により農業用ため池の安全性が国より求められ平成25年度に調査点検を行った結果、震度6程度の地震では決壊の恐れは少ないことが判明しました。しかし万が一ため池が決壊する恐れのある場合、または決壊した場合に、迅速かつ安全に避難するための参考資料として、活用していただくためのものです。

ハザードマップを作成すると・・・

日頃の防災意識を高めることができます

地域が抱える危険を、みんなで考えることができます

災害が起きたときに、すばやく的確な避難ができます

あらかじめ避難先を家族と話し合い、ため池決壊が発生した場合、家族で避難ルート等を把握することで被害を防ぐことができます。

地域の防災対策の基礎資料となります。また、危険箇所等を地域で情報共有できます。

単に早く避難すればよいとは限りません。状況によって、避難しないほうがよい場合もあるので、マップを活用し判断しましょう。

●我が家の防災メモ 自分たちの命・自分たちの地域は自分たちで守ろう

我が家の避難場所				
家族の集合場所				
災害時の緊急連絡先				
家族の名前	生年月日	血液型	会社・学校の電話番号1	会社・学校の電話番号2

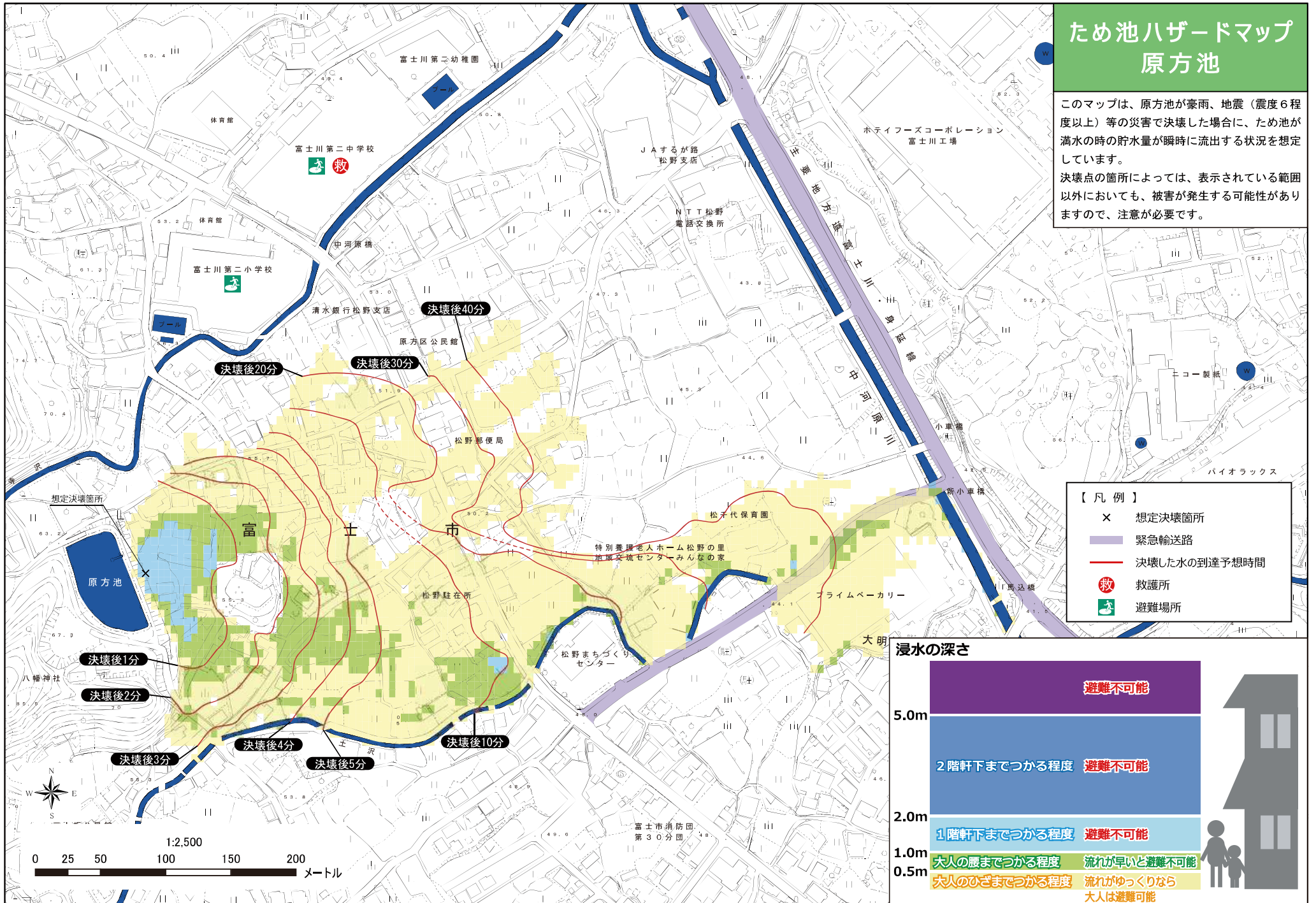
ラジオ局周波数	
NHK 第1	882KHz
NHK 第2	639KHz
SBSラジオ	1404KHz
NHK-FM	88.8MHz
K-MIX	79.2MHz
Radio-f	84.4MHz

NTT災害用伝言ダイヤル	
① 伝言を登録する	録音の場合(1) → (市外局番) 00-0000
[171]にダイヤル カイダンスが流れます	カイダンスが流れます 自宅の電話番号をダイヤル
② 伝言を聞く	再生の場合(2) → (市外局番) 00-0000
[171]にダイヤル カイダンスが流れます	カイダンスが流れます 被災地の電話番号をダイヤル

※家族で地図にも避難場所への避難経路を書き込みましょう。

ため池ハザードマップ 原方池

このマップは、原方池が豪雨、地震（震度6程度以上）等の災害で決壊した場合に、ため池が満水の時の貯水量が瞬時に流出する状況を想定しています。
決壊点の箇所によっては、表示されている範囲以外においても、被害が発生する可能性がありますので、注意が必要です。



- 【凡例】
- × 想定決壊箇所
 - 緊急輸送路
 - 決壊した水の到達予想時間
 - 救 救護所
 - 逃 避難場所

